

令和4年度 地域包括支援センター 事業評価の結果について

川越市福祉部地域包括ケア推進課

概要

目的

地域包括ケアシステムを推進していくためには、地域包括支援センターの機能強化は重要な課題であり、地域包括支援センターがその機能を適切に発揮できるよう地域包括支援センターごとに業務状況を明らかにし、それに基づいて必要な機能強化を図っていくことを目的としています。

地域包括支援センター評価指標

地域包括支援センターの機能を向上させるためには、市町村と地域包括支援センターの連携強化が欠かせないことから、地域包括支援センターの評価においては、地域包括支援センターに対する評価を行うこととあわせて、市町村の関わりについて、国により策定された全国で統一した評価指標に基づいて点検を行います。

また、評価項目については、大きく分けて7項目あり、その項目ごとにより詳細な質問に答えていく形式となっています。

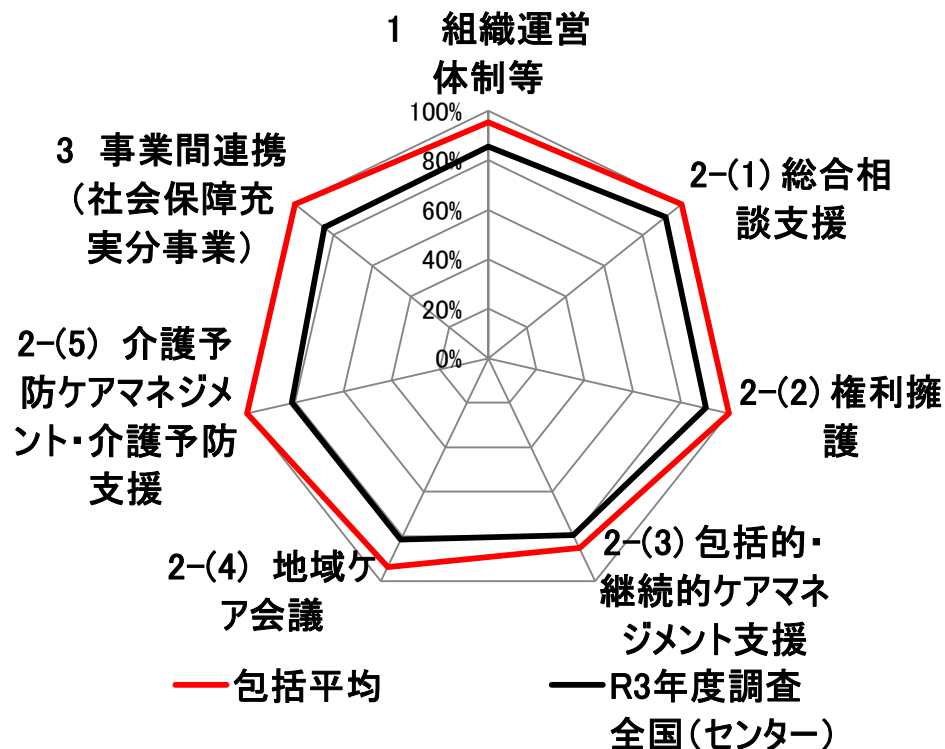
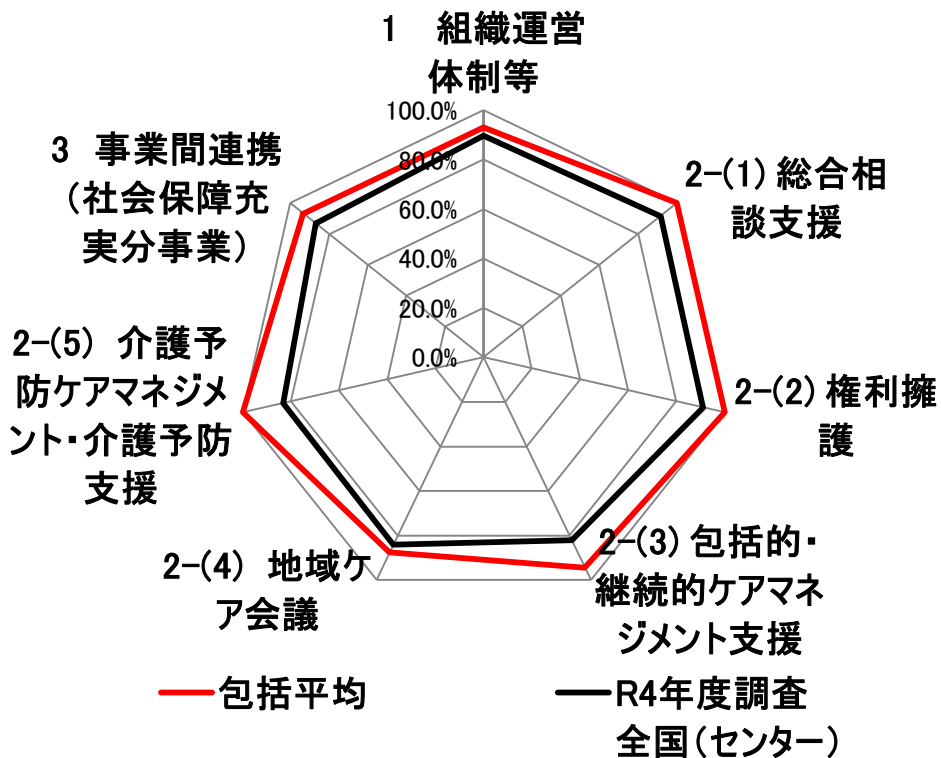
調査時点

令和4年4月30日現在

川越市のセンター平均と全国のセンター平均の比較

令和4年度

令和3年度（参考）

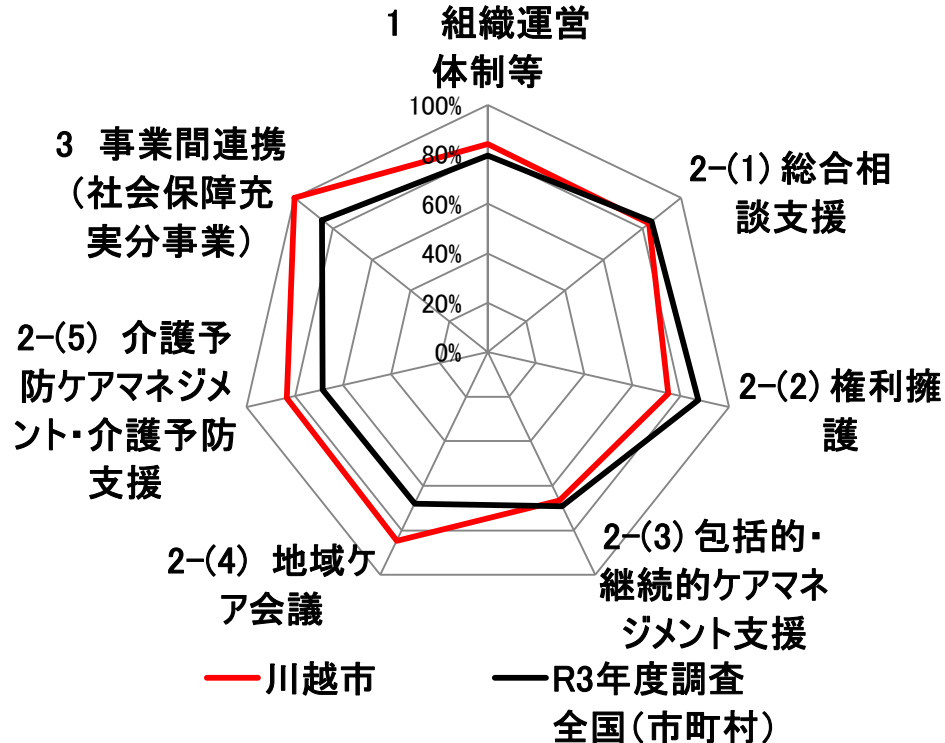
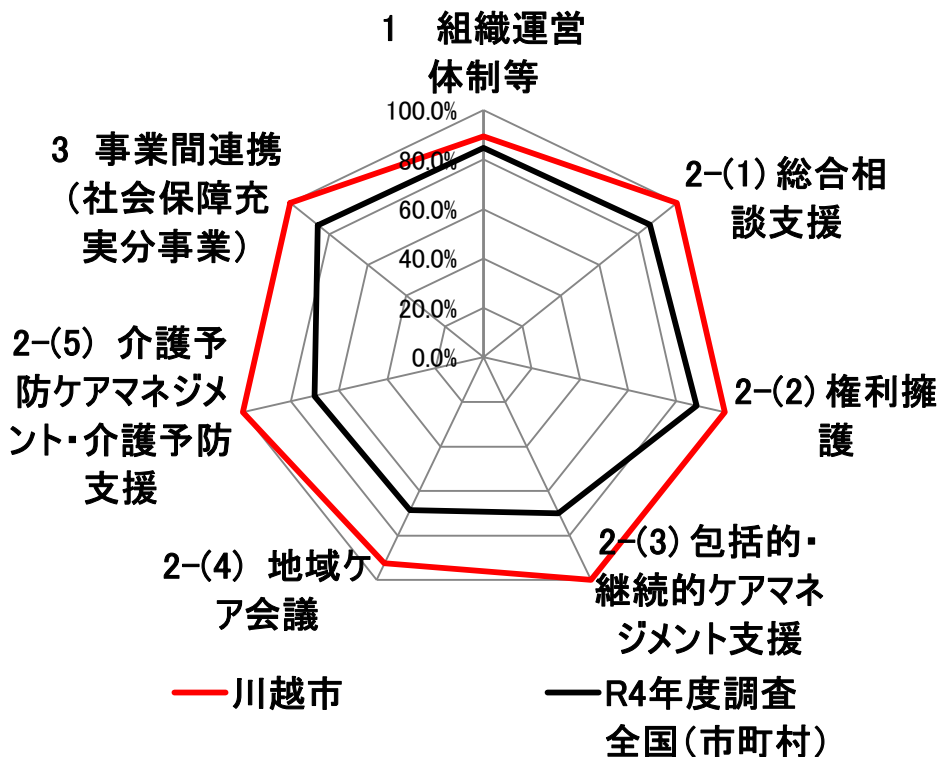


- 令和3年度に引き続き、全項目において、川越市の9つある地域包括支援センターの平均値は、全国の平均値と比べ、全項目上回っていました。
- 全項目において、実施状況に大きな偏りもないため、概ね良好な実施状況であると考えられます。

川越市と全国（市町村）平均の比較

令和4年度

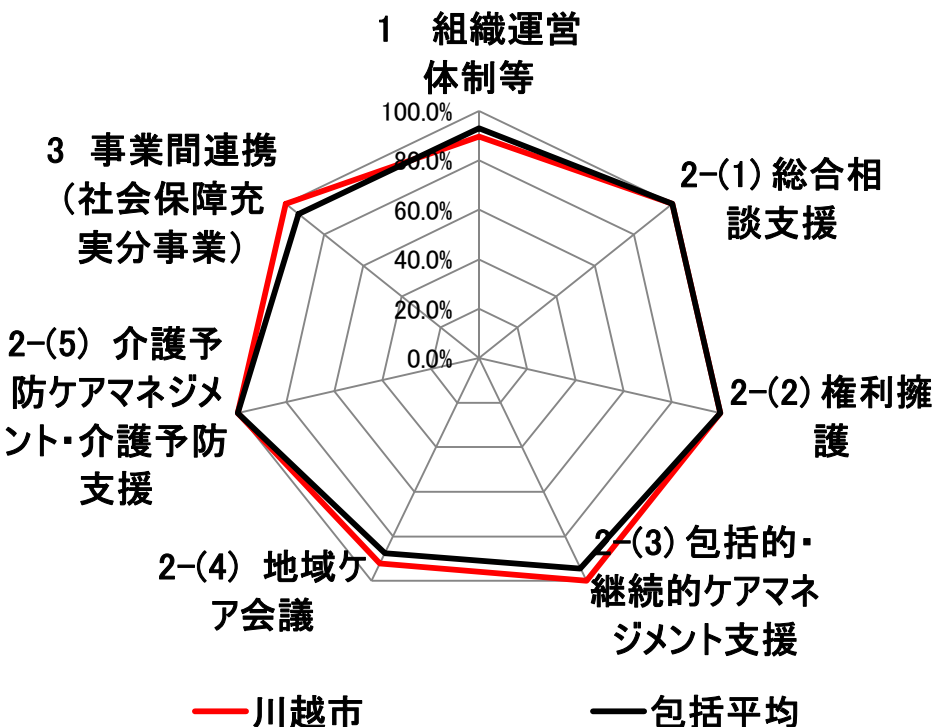
令和3年度（参考）



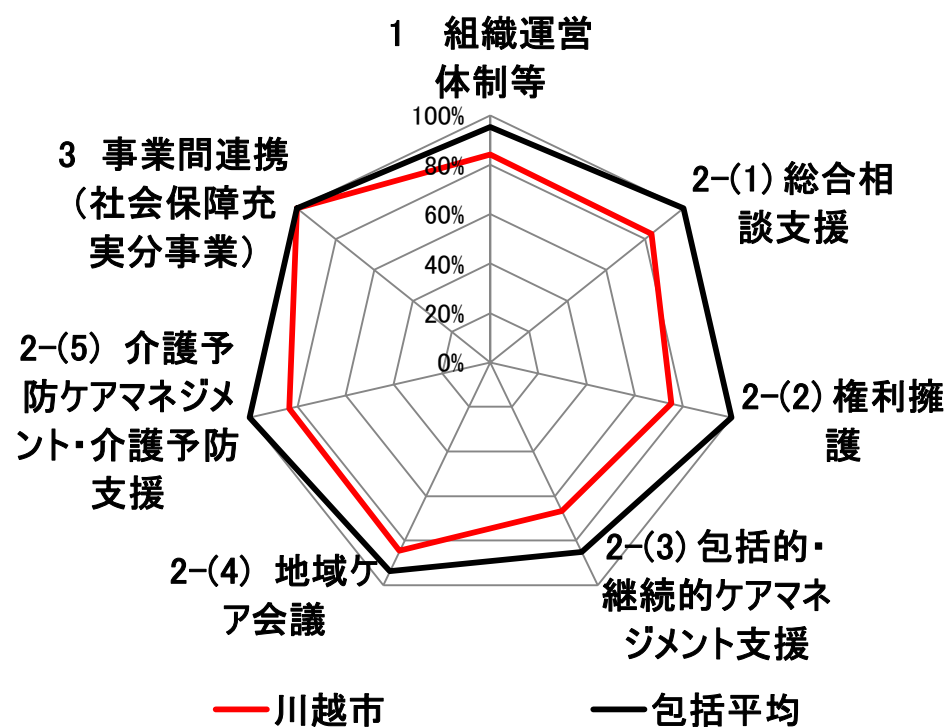
- 令和4年度は、全項目において、全国平均を上回っていました。
- 令和3年度と比べ2-(1)、2-(2)、2-(3)が大幅に上回っていました。
- これは、令和3年度の回答が、地域包括ケア推進課が所管する事業のみを回答していましたが、令和4年度は、地域包括ケア推進課以外の部署（福祉推進課、高齢者いきがい課、介護保険課）の所管業務を踏まえて、市全体の取組として回答したため、市として偏りのない評価となりました。

川越市と各センターの平均

令和4年度



令和3年度 (参考)



- 令和4年度において、川越市の取組と地域包括支援センターの取組に差は、ほぼありませんでした。
- これは、川越市と地域包括支援センターとで情報共有しながら、互いに同じ目標、目的に沿って事業の展開ができていたと考えられます。

まとめ

- 相談件数は増加傾向にある中で、市とセンター長会議や委託先業務報告会等で情報共有し、相談内容によっては、関係部門と連携しながら対応していた。
- 事業実施については、コロナ禍の状況のなか、感染対策を講じたり、オンラインの活用、レターの配布など工夫し、高齢者の安心・安全を心がけて実施していた。
- コロナ禍が長引いて自主グループ活動等の活動の自粛や再開できないという地域の状況があり、地域包括支援センターにより、各事業の取組状況に差が生じている部分もあった。
今後も、センター長会議等を活用し、9つの地域包括支援センターが等しく事業を実施できるように検討し、取り組んでいく。